

- 1 単元名 小説を読もう～話のその後は？『物語の続きを考えてみよう』  
・読んだことを基に、仲間と感想を交流し、物語のその後を想像して書く

2 教材名 「夏の葬列」

3 単元について

(1) 作品について

戦争の末期、疎開先の町で、艦載機の銃撃から自分を助けようとした少女を死においやったという心の傷を持つ「彼」が、敗戦の夏の記憶を過去の中に封印しようとして、十数年ぶりに疎開先だった小さな町を訪れる。そこで、その少女の母親の葬列と出会い、少女の死だけでなく、その母親の死も自分の責任だということを知る。「夏の葬列」は、自分の中に残る痛みを消し去るのではなく、二つの罪を背負いながら生きていくことを覚悟する人間の姿を描いており、非常に重いテーマをもった作品であると

える。  
しかし、本作品はショートショートとして発表されたものであり、展開のおもしろさや意外性に引き込まれ、一気に読み進めることのできる作品でもある。二学期のスタートは、学習を意欲的に行うには、大変きびしい時期であるが、生徒は興味をもって、本作品を読み進めることができると考える。

(2) 単元について

(1) にて、本教材のおもしろさについて触れた。さらに、学習課題（言語活動）を「作品のあとの続きの話を書こう」とした。お話の続きを書くには、思いつきで書くことはできない。学習課題を解決するには、文章に関心を持ち、人物や情景の描写などに注意し、意欲をもって読み進めることが必要になってくる。本作品と本単元の設定により、生徒は意欲をもって作品の読みを行うものと考え本単元を設定した。また、活動自体も、仲間と感想や意見を交流ながら楽しく取り組めると考えた。

単元の構成は、生徒の読みを基に、この話の展開を考える部分と、指導者が読みを補い物語の続きを考え交流し、読書につなげる部分で構成されている。読み手は空所を埋めながら物語を読み進めるということなので、その点を指導者が指導計画にいかせばよいことになる。

生徒の読みの部分では、生徒の疑問点や話の続きをある意味最大の空所と捉え、これらを問い、交流をしていけばある程度読みが深まると考えた。さらに、生徒の書いたものから、読み誤っている点や読みが足りない点を分析し、補うことでさらに読みを深めて行き、活動につなげていく。

(3) 生徒について

NRT などの結果から、文学的な文章では、「行動と理由の読み取り」、「主題の読み取り」が苦手であるという実態が明らかになった。叙述に即した読み取りや心情の読み取りは全国レベルであるが、もう少し深めた読み取りや、心情ばかりではなく他の要素の読み取りも必要である。書き手を意識した読み（主題に向けた設定・構成・各描写・語りなどの読み取りを行う必要がある。このような実態からも本単元を設定した。

4 指導計画と評価

(1) 単元目標

- ◎文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。【読むことウ】
- 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。【読むことイ】

(2) 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
①物語について関心を持ち、交流して考えを深めようとしている。	①描写の効果や登場人物の言動の意味などを考えて物語の内容を理解し、自分の感想を持っている。(イ) ②感想を交流するために、物語の構成や展開、描写や比喻などの表現について、具体的な部分を取り上げて考えをまとめている(ウ)	①文章を読む際に、抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語た多義的な意味を表す語句などに注意している。(イ) ②物語によって文章の形態や展開に違いがあることを意識しながら読んでいる。(イ)

(3) 単元構想表

言語活動	ア 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。				
	指導事項	重点	学 習 過 程	評 価 規 準	時
夏 の 葬 列 の 続 き を 考 え て み よ う	ア 語句の 意味理解		1 場面ごと簡単に確認しながら「夏の葬列」を読む。 2 初発の感想や疑問点や気になった点（登場人物・場面）最後の場面・人物・テーマについてまとめる。 3 本単元の学習課題を知る。 4 次時の予告と宿題（本文を家庭で読んでくる）		1  家庭
	イ 文章 の解釈  ウ 自分の考 えの形成	◎	1 前時に仲間のあげた疑問点などを知り、読みの課題を深める。  2 話の今後の展開を考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">課 題 (1) 彼はまたの町にもどってくるだろうか。※ 戻ってくるかこないかを考えさせる。 その際理由も考えさせる。 (文章から判断するように促す。) (2) 今後の展開はどうなるか。</div>	・これまでの読みをもとに、話のその後を考え書いている。 そう書いた理由も明確にできる。  ← ※ Cの生徒への手立て	2
	イ 文書 の解釈	○	1 前時の生徒がまとめたものを分析し、読みの課題を設定する。・・・教師 ・読みが浅いと思われる部分。 ・読みを誤っている部分など。 ・必要ようと思われる表現。 ・語り手が評価をしている部分。 ・キーワード「葬列」「埋葬」 ・その他特徴的な表現にふれる。・比喩。	・2時間目に同じ ・文章中に根拠を求められるか。 ・また、それは正しい読みと言えるか。	3
	ウ 自分の考 えの形成	◎	1 今までの読み取りをもとに、再度小説の続きを考えてみる。 (時間によっては、家庭学習でやってくる) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・物語の続きを書いてみよう。</div>	・これまでの読みをもとに、話のその後を考え書いている。そう書いた理由も明確にできる。 A文体などをまねて書いている。 理由もふさわしい。 B話の続きを、あらずじで書いている。 理由もふさわしい C自分の考えをまとめられない。 理由もあいまい。	4
	エ 自分の考 えの形成		・仲間の発表を聞き、感想や意見を深める。	関①	5
	オ 読書と 情報活用		・山川方夫の他の作品を紹介する。 ・ショートショートを紹介する。 ・家庭等で紹介された本を読み、意見や感想を持つ。		(5) (5) 家庭

--	--	--	--	--

## 5 本時の展開

1 日時・場所 平成26年8月29日(金) PM2:00 2年5組 教室

### 2 本時の目標

#### 【C読むこと】

- ・抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと (1) ア
- ・文章全体と部分との関係, 例示や描写の効果, 登場人物の言動の意味などを考え, 内容の理解に役立てること。(1) イ
- ・文章の構成や展開, 表現の仕方について, 根拠を明確にして自分の考えをまとめること。(1)

オ

	・学習活動	・指導上の留意点	・評価等
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時(1時間目)の確認 あらすじ・舞台・人物など</li> <li>○本時の課題を確認する。 『この話の今後展開はどうなるか?』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1時間目8/26(火)なので, 話を思い出すように</li> <li>○先に課題を示す。</li> </ul>	
展開① 15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仲間の疑問点や考えを知り, 自分の読みや考えを深める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の課題をまとめたものを生徒に返す。</li> <li>・仲間の読みを知り, 自分の読みを振り返る。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○軽重をつけながら, 生徒の出した疑問点などを解決していく。</li> <li>・教師が説明してしまうもの</li> <li>・生徒の意見をきいてみるものなど</li> </ul>	○授業の様子 読アイ
展 展② 25分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最後の場面を読む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒とのやりとりで, 大切な表現を押さえていく。</li> </ul> </li> <li>○これまでの読みをもとに, 物語の続きを想像して書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後の場面を読む。</li> <li>・この場面のあとを想像して書く。</li> <li>・2つ課題を設定し, どちらかを書く。</li> </ul> </li> <li>○互いの書いたものを発表し, 交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話の続きを意識させるため。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・この部分は, 大切な表現が多く, この部分だけでも, 考えの根拠となる。</li> </ul> </li> <li>○課題を二つ示しておく。(書けない生徒への手立て) <ul style="list-style-type: none"> <li>・彼はまたこの町にもどってくるだろうか。戻ってくるかこないかを考えさせる。</li> <li>その際理由も考えさせる。</li> <li>※文章から判断する(根拠を文章中に求める)ように促す。</li> </ul> </li> </ul>	○ワークシート 意・読ウ  ○発表 意
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・書かれたものの評価をする。</li> <li>・次時の予告</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2時間目の段階であったが, 読み取れていたこと 読み取れていなかったことにふれ, 次時の読み取りに生かす。</li> </ul>	

